

東北復興支援プロジェクト

・プロジェクトの目的

① 私たちは2年前に発生した東日本大震災の風化を防止すること、原発事故の影響により問題となっている東北産の食材の風評被害に対するイメージを少しでも変えていくことを目的に“山口で私たちにできること”を考え、プロジェクトを立ち上げました。そこで私たちにできることとして、(1) 山口県内の高校生に対して東北の現状や風評被害の実態について伝えること、学生の立場から自分たちにできるボランティア活動に興味をもってもらうことを目的とした報告会を行う(2) 東北の食物の安全性を広報し広めることや経済的な被災地応援をするために、福島県から仕入れた食材を使って東北の郷土料理をふるまう活動を行う(3) イベント内で募金活動を行うことで実際にボランティア活動を行った施設の運営補助という形での継続したボランティア活動を行うことを考えました。このことを目的として福島県から仕入れた食材を使って被災地支援活動の実現のために「芋煮のふるまい」企画を行いたいと思います。

② メンバーが学ぶだけでなく、学んだことや実際に春休みに現地で行ったボランティア活動を通して知った東北の現状を、地域住民や県内の高校生に対して伝えることで情報発信を行い、東日本大震災の風化防止につなげたいと思います。

・活動内容

○オープンキャンパスでのパネル展示 (2013年7月14日)

2013年の春休みにメンバー2人が宮城県の児童保養施設に、3人が岩手県に行きボランティア活動をしてきました。東北の現状を高校生に伝え一緒に東日本大震災について考えることを目的に、高校生に対してパネル展示での啓発活動を行いました。同時に、宮城県の児童保養施設へのメッセージカードも募集したくさんのメッセージを書いてもらいました。



○料理教室参加（8月7日）

市内で料理教室に参加し、実際に商店街でふるまう芋煮を作りました。里芋などの野菜を初めて調理し、おいしい芋煮を作ることができました。



○商店街第一回打ち合わせ（9月30日）

芋煮のふるまい段階や商店街でのイベントについての打ち合わせを行いました。また、一緒にイベントを行う商店街の方々との初顔合わせとなりました。

○第一回高校報告会（10月2日）

山口市内の高校で、ボランティア活動や東北の現状を伝える報告会を行い、同時に高校生への東日本大震災に対する意識調査を実施しました。意識調査では、報告会を挟んでの事前アンケート、事後アンケートを行い、意識の変化を調査しました。このことにより、報告会や私たちの活動をきっかけに山口の高校生にも東北復興や災害、ボランティアについて興味・関心をもってもらうことや大学生の活動について知ってもらうことを目的としています。



○宇部市のFMきらら「ようこそ BOUSAI カフェ」でのラジオ出演（10月5日）

宇部市のローカルラジオ番組に出演させていただき、私たちの想いを伝えるとともに活動報告、商店街でのイベントの宣伝をしました。

○第二回商店街打ち合わせ（10月17日）

11月23日に道上前商店街で行われる復興支援イベントについての最終打ち合わせに参加してきました。



○芋煮練習会（10月21日）

メンバーのみで実際にいわき市から仕入れる野菜を使っての練習会を行いました。また、今回の練習会を通してどのくらい野菜を仕入れるのか、商店街のイベントでどのように動くのかについての検討会議も行いました。



○第二回高校報告会（10月23日）

岩国市内の高校で、ボランティア活動や東北の現状を伝える報告会を行い、同時に高校生への東日本大震災に対する意識調査を実施しました。



○発表を聞いての高校生の感想（一部抜粋）

- ・最近あまりテレビで報告がされなくなり、遠くに感じていた震災について改めて身近に感じる事ができた。
- ・自分に何が出来るか考えてみようと思った。
- ・東北、原発について知れた。



今後の予定として、11月23日（土）に道場門前商店街にて行われる東北・山口災害復興支援イベントで、福島県いわき市産の野菜を使っての無料での芋煮のふるまいを行います。また今回の商店街での芋煮のふるまいの活動にあたり、私たちは農林水産省のフード・アクション・ニッポン推進パートナーに参加登録を行いました。ツナグプロジェクトは農林水産省の「食べて応援しよう！プロジェクト」というプロジェクトに賛同して活動を行います。

